

さだしげ殿御返事

建治二年一二月二〇日 五五歳

さきざきに申しつるがごとし。世間の学者仏法を学問して智慧を明ら^{あき}めて我も我もとおもひぬ。一生のうちにむなしくなりて、ゆめのごとくに申しつれども、唯^{ただ}一大事を知らず。よくよく心得させ給ふべし。あなかしこ、あなかしこ。

十二月二十日

日 蓮 花 押

さ だ し げ 殿 御 返 事